

耳鼻咽喉科学

責任者・コーディネーター	耳鼻咽喉科学講座 佐藤 宏昭 教授		
担当講座・学科(分野)	耳鼻咽喉科学講座、頭頸部外科学科、歯学部口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野		
担当教員	佐藤 宏昭 教授、志賀 清人 教授、山田 浩之 教授、平海 晴一 准教授、桑島 秀 助教、大森 孝一 非常勤講師、河嶋 寛 非常勤講師、佐藤 護人 非常勤講師、米本 清 非常勤講師		
対象学年	4	区分・時間数	講義 22.5 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

耳鼻咽喉科学は生命維持に重要な気道や嚥下を扱うと同時に、ヒトの高次な精神活動に必要な聴覚・言語というコミュニケーションに関わる器官も扱う。このような領域の障害を究明し、機能と形態の修復を図り、さらに予防を目指す学問である。

・教育成果（アウトカム）

耳鼻咽喉科学及び関連領域における基礎的知識を習得することで、臨床医学全般の中における耳鼻咽喉科学の位置、他科との関連性を認識する。
(ディプロマ・ポリシー：2, 3, 6)

・到達目標（SBO）

1. 耳鼻咽喉科・頭頸部領域の臨床的解剖事項およびその機能を説明できる。
2. 聴覚検査、平衡機能検査、嗅覚検査、味覚検査など耳鼻咽喉科・頭頸部領域の主たる検査法と、その検査結果から障害の病態などを説明できる。
3. 耳鼻咽喉科・頭頸部領域の主たる疾患をあげ、その病態、診断、治療など疾患に関わる一般的な知識を説明することが出来る。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/4	火	3	耳鼻咽喉科学講座	佐藤 宏昭 教授	聴覚・身体平衡生理
4/4	火	4	耳鼻咽喉科学講座	佐藤 宏昭 教授	難聴・めまいをきたす疾患
4/11	火	3	耳鼻咽喉科学講座	平海 晴一 准教授	外耳・中耳疾患
4/11	火	4	耳鼻咽喉科学講座	平海 晴一 准教授	中耳手術、中耳疾患合併症
4/18	火	3	耳鼻咽喉科学講座	大森 孝一 非常勤講師	音声障害
4/18	火	4	耳鼻咽喉科学講座	佐藤 宏昭 教授	人工内耳
4/25	火	3	耳鼻咽喉科学講座	平海 晴一 准教授	顔面神経麻痺
4/25	火	4	耳鼻咽喉科学講座	米本 清 非常勤講師	聴覚検査
5/2	火	3	耳鼻咽喉科学講座	桑島 秀 助教	鼻副鼻腔疾患・腫瘍
5/2	火	4	耳鼻咽喉科学講座	桑島 秀 助教	唾液腺疾患、気管食道異物
5/9	火	3	頭頸部外科学科	志賀 清人 教授	喉頭疾患・腫瘍
5/9	火	4	頭頸部外科学科	志賀 清人 教授	口腔咽頭疾患・腫瘍
5/16	火	3	耳鼻咽喉科学講座	佐藤 護人 非常勤講師	鼻アレルギー
5/16	火	4	耳鼻咽喉科学講座	河嶋 寛 非常勤講師	気管切開・嚥下障害
6/6	火	3	歯学部 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	山田 浩之 教授	歯科学

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	NEW 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 改訂第2版	喜多村健 他著	南江堂	2007
推	ENT and Head and Neck Surgery (Oxford Handbook)	Rogan Corbridge, et al	Oxford University Press	2010
参	Physiology of the Ear 2nd ed.	Jahn AF, Santos-Sacchi J	Singular	2001
参	Management of Head and Neck Cancer : a multidisciplinary approach 2nd ed.	Million RR, Cassisi NJ	Lippincott	1994
参	Jatin Shah's Head and Neck Surgery and Oncology 4th ed.	Jatin S, Patel S, Singh B	Elsevier / Mosby	2012

・成績評価方法

試験成績により評価する。

・特記事項・その他

1. 講義は総論と各論に大別せず、耳、鼻、咽、喉、頭頸のそれぞれについて構造と機能、検査法、疾患の順に述べる。
2. 講義では主要なことを重点的に講義するので適当な教科書、参考書で知識を整理することが必要である。
3. 講義は教授、准教授、講師（非常勤を含む）、助教が分担して行う。
4. 講義の具体的内容は講義日程表通りである。

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書を用いて事前学修（予習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

授業の中で質問し、解答に対して解説を行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	純音オーディオメータ	4	聴力検査実習
講義	自記オーディオメータ	1	聴力検査実習
講義	インピーダンスオーディオメータ	1	聴力検査実習
講義	誘発電位検査装置	1	ABR（聴性脳幹反応）検査
講義	誘発反応測定装置	1	ASSR（聴性定常反応）検査
講義	耳音響放射測定装置	2	内耳機能検査
講義	音叉	3	聴力検査
講義	電気眼振計（ENG）	1	平衡検査
講義	ビデオ式眼振計測装置（VOG、VNG）	1	平衡検査
講義	赤外線眼振画像 TV 装置（IEM-2）	1	平衡検査
講義	耳鼻咽喉科診療ユニット	4	耳鼻咽喉科診察実習
講義	ビデオ鼻咽喉スコープ	3	耳鼻咽喉科診察実習
講義	ファイリングシステム	3	耳鼻咽喉科診察実習
講義	ビデオ感音難聴とその成因 1) 上顎腫瘍手術 2) 喉頭腫瘍手術 3) 気管切開手術	4	手術他供覧
講義	ビデオ装置	1	代表的疾患の供覧
講義	模型	4	耳、鼻、咽喉頭の解剖理解のため
講義	パソコン一式（Dimension9200）	1	講義資料作成